

熊本ラウンド 実施報告

2023年11月25日

ハイブリッド形式での開催となりました。対面・オンライン含めて、全国各地から多種多様な立場の方にご参加いただいたことで、活発な意見交換をすることができました。ありがとうございました。



開会

実践発表 小学校体育：是住直人教諭

中学校体育：福田晃平教諭

小学校保健：村上朋美教諭

実践についての協議・お悩み相談

まとめ 佐藤豊先生

閉会



1 実践発表：小学校体育、中学校体育、小学校保健

攻守や領域の違う、3つの実践を発表していただき、ブレイクアウトルームで3つの実践について協議を行いました。

体育では、ボールやコートの広さで、子ども達の様相が変わってくるのがわかりました。小学校でも中学校でも、教師の意図が反映されており、2つの実践を比べてみることで、系統性という視点からも協議することができました。

保健では、自分の体の成長に「恥ずかしい」と感じ出す時期での実践は難しいと感じることがある一方、専門的な知識を持つ養護教諭が授業に入ることで、子どもたちはより納得感を得られるのではないかという声も聞かれました。

2 佐藤先生から

私たちは子どもたちに対して「卒業した後何ができるか、そのためには何を教えるのか。どう教えるのか。」を考えなければいけないことを示していただきました。“協働的な学び”などは、手法論でしかなく、何を教えるのかを外してはいけないことを改めて感じました。今回は保健の実践があったことで佐藤先生からも保健領域のお話を聞くことができました。「保健領域はどの校種でも学習内容が同じに感じる」というフロアの声について、スパイラルに学習を積み重ねていく中でも発達段階に応じて少しずつ変わっていくこととお話いただきました。

「小学校段階では、実践的に理解」より生活と照らし合わせて理解させる。

「中学校段階では、科学的に理解」メカニズムが理解できるようになってくるため。

「高校段階では、総合的に理解する」社会問題と関連付けていく。

今日の学びをそれぞれの場所で活かしていけたらと思います。オンラインも便利でいいですが、対面ならではの人の温かさも感じる事ができた1日でした。皆さんありがとうございました。